

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022年 5月 16日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者

住 所 愛知県名古屋市中区錦一丁目19番24号

氏 名 株式会社NIPPO 中部支店

執行役員支店長 山縣 裕

電話番号 052-211-6571

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社NIPPO 東富士出張所
事業場の所在地	裾野市今里427-1 東部健康福祉センター管内の工事現場
計画期間	令和4年4月1年～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	舗装・土木工事業
② 事業の規模	元請完成工事高：東富士出張所 68419（万円）
③ 従業員数	8人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

（日本産業規格 A列4番）

別紙1

工事場所： 東部健康福祉センター管内の工事現場

中部支店・静岡統括事業所

(契約者)

現場担当者：東富士出張所

(分別)

アスコンがら

収集運搬

中間処理場
破碎

(再生)
再利用販売

コンクリートがら

収集運搬

中間処理場
破碎

(再生)
再利用販売

木くず

収集運搬

中間処理場
破碎

(再生)
再利用販売

金属くず

収集運搬

中間処理場
破碎

(再生)
再利用販売

廃プラスチック

収集運搬

中間処理場
破碎・圧縮

収集運搬

中間処理残さ
最終処分場
埋立

(再生)
再利用販売

汚泥

収集運搬

中間処理場
脱水

収集運搬

中間処理残さ
最終処分場
埋立

(再生)
再利用販売

紙くず

収集運搬

中間処理場
破碎

収集運搬

中間処理残さ
最終処分場
埋立

(再生)
再利用販売

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



作成部署: (株)NIPPO 東富士出張所
責任者: 東富士主張所 所長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンガラ	木くず	金属くず	廃プラスチック	汚泥	紙くず
	排出量	7336.5t	199.5t	6.6t	19.888t	45.675t	7.65t	1.2t
	(これまでに実施した取組) アスコンがら、コンクリートがらの再生品を利用する。 工事中の建設廃材を出来る限り抑制する。 最終処分量をなるべく削減する。							
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	アスガラ	コンガラ	木くず	金属くず	廃プラスチック	汚泥	紙くず
	排出量	5000t	300t	10t	10t	30t	5t	1t
	(今後実施する予定の取組) アスファルト合材の注文量を正確に行い、廃棄を少なくする。 梱包材を簡素化する。							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスコンがら、コンクリートがら、木くず、金属くず、プラスチック類、紙くず 廃棄物を細かく分別し再利用しやすくする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記と同じ

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	_____
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	_____
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	_____
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	_____ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	_____ t
(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	_____
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	_____ t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	_____ t
(今後実施する予定の取組) _____		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	（これまでに実施した取組） _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	（今後実施する予定の取組） _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	アスファルト	コンクリート	木くず	金属くず	廃プラスチック	汚泥	紙くず
	全処理委託量	7336.5t	199.5t	6.6t	19.888t	45.675t	7.65t	1.2t
	優良認定処理業者への処理委託量	_____	_____	6.6t	19.888t	45.675t	_____	1.2t
	再生利用業者への処理委託量	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
	認定熱回収業者への処理委託量	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業への処理委託量	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
	（これまでに実施した取組） 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定して契約書を作成している。							

		【目標】						
		産業廃棄物の種類	アスバラ	コンガラ	木くず	金属くず	廃プラスチック	汚泥
②計画	全処理委託量	5000t	300t	10t	10t	30t	5t	1t
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—	10t	10t	30t	—	1t
	再生利用業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—
		<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>可能な限り優良認定業者を選定する。 委託業者に対して、定期的に処理現状の現地確認をする。</p>						
※事務処理欄								